

2019-06 2019.06.18

## 2019 年 6 月 議事録

令和元年 6 月 18 日（火）AM10:00～12:00 東児童館調理室

出席者；大館（東 2 副）小久保（稲 3 区長）木下（稲 2 区防災）神田（東 2 元自治会長）、原田（稲防犯パトロール隊長）、山口、半田、笹澤、鈴木、大竹、荻生、守谷、長澤

配布資料；5 月 29 日講習会 木原孝久先生「支え合いマップづくり」時に配布された「見守りの要領」（事前配布）24 回議事録 25 回目会議書き込み用紙

### <報告> 1. 5 月 29 日住民流福祉総合研究所 木原孝之先生による支え合いマップ作りのレクチャー

配布資料に基づく説明講演のあと きずなネットワークメンバー集合し稲荷前 2 区の一部（約 50 軒）を取り出しその地域拡大地図にメンバーの知の情報（主に高齢者の動向と高齢者予備軍チェック）を書き込んだ。⇒その時に作成した書き込み地図の提示。

### <議題> 1. 支え合いマップの区割り、印などの取り決め事項

#### 2. マップ作成時の問題点

#### 3. 支え合いマップの保管、管理、利用について

（以上の議題が提示されていたが、議題に入る以前に原田さんから質問 3 つが出されその内容が上記議題と重複すること、ランダムな意見交換となったので議題としては以下 2 点になった）

##### 1. マップについて

##### 2. 6 月 23 日の稲荷前合同防災委員会への対応

#### 1. マップについて；

@地域マップは作ることも大変だが、メンテナンスも大変なことだと思うがその件についてはどのように考えるか？⇒種々の意見交換の結果、作る作業を**多くの住民が関わって地域に目を向けてもらえる好機**としてマップ自体の完成やメンテナンスの大変さを主に置かない。可能ならば書き込むイベントを開催するのも良いのではないか？その中で守るべきこと！**オリジナルはコピーしない（1 品もの）**

種々の自治会他の住民が集まる催し物に MAP を持っていき書き込んでもらう。見てもらうことによりこういう事が進められている、知ってほしい情報があつたらそこに伝えようという意識づけになる。実際のメンテナンスは集まれるメンバー（きずなに関わらず関心を持った住民）が年に一度更新する。

@MAP のアナウンスをすれば責任は集中するがきずなネットワークの組織は大丈夫なのか？⇒MAP はコピーしない。地図の保管は笹澤会長。地域の情報を提示するのは地域の人間だし、それを友好的に地域の住民が捉えて「お互い様」の自然な見守り、声がけになれば MAP 自体は残渣。

@自治会他との関連はどうなっている？⇒きずなネットワークはふれあい相談員と民生委員で始まった（後援に社協）当初から自治会に関わってもらいたく各自治会にお誘いをしていた。他にはパトロール隊、自警団、PTA、種々ボランティア団体とも手をつないで行きたいと思っているが少しずつイベントを通して関わっていく。

#### 2. 稲荷前合同防災委員会への対応：1 1 月 17 日実施の防災訓練について要望があつたら書面にての返信を求むという書類が届いたので、作成した返信文書の読み上げを行った。（本文添付）→稲 2 区の木村さん受理

6 月 23 日にその件について話し合う防災委員会が開かれるとのことだが長澤副会長はその席に出席可能か？を打診⇒木村さんが持ち帰り後日可否を知らせてもらう。

考えている搬送訓練とはどのようなものか？長澤副会長が消防署に問い合わせた防災訓練として地域住民に公開しているプログラム。（原田）

長澤副会長；採用されたらシナリオを作り消防署と綿密に打ち合わせをして作りたい。

⇒この頃 12 時回ったため退出する参加者が多かったので 終了

次回は 7 月 16 日（火）10:00～ 東児童館

一回閉会の後、6月23日の合同防災委員会に出席 OK となった時にきずなメンバーの意思の統一がなされていない場合対外的に信用を損なうことになるので話し合いを持った。

## 結果

☆自治会（合同防災委員会）が主導すべきなので、きずなとしては依頼があった場合はお手伝いを否まないがあくまで主導権は自治会。

☆今年はここ何年も繰り返されている「消火器の使い方」ではなく あるいは だけではなく「地震などを想定した搬送訓練」を取り入れてほしい。という要望を示す。

☆求められた場合のみ きずなから全員あるいは一部人員を手配して意見交換、物品手配、書類作成など手伝う。

## 以上

**2 ページ目はいわゆる初期のきずなメンバー（笹澤・長澤・半田・山口・守谷・山田・鈴木・社協）のみに配布予定**